

社会福祉法人さざんか会法人広報誌『おーぷん第73号2017夏』

発行：さざんか会法人本部/船橋市行田2-8-1/☎047-404-1135

編集：おーぷん編集委員会(けいよう)/船橋市二和西5-10-1/☎047-411-8177

おーぷん73号紙面(敬称略)

P1-2 思いを叶えるには

さざんか会理事長

宮代隆治

P3 権利擁護はいま

「我が子の行く末」と

「私たちの老後」


育成会会員 佐藤裕美

P4 さざんか会

平成28年度収支報告

P5 ふたわ会報告

のまる管理者：泉一成

各事業所夏便り

P6 ゆたか福祉苑

P7 カメリアハス けいよう

P8 グループホーム のまる

P9 とらのこ さざんか

P10 北総育成園

支援課長：絵嶋典子

P11-12 笹川なすな工房

支援員：高野明夏

P12-13 ランプ発

管理者：山田朝広

P14 さざんか会

後援会だより

# 思いを叶えるには

## さざんか会理事長：宮代隆治

私たちは、自覚するか否かは別として日々の生活を滞りなく送るに、色々な場面で選択をしています。「今夜のおかずは何にしよう」というものから、「今度の休み映画を観に行こうか、それともディズニーランドへ行こうか」といったもの。また、学生時代は進学に当り学校を選んだり、その後就職先を選ぶなど人生の岐路に差し掛かるもの。日常の些細な出来事から、その後の自身の人生に重大な影響を

及ぼすことまで、様々な場面で選んでいるものです。

自分のそれまでの経験や、入手した情報や時には相談相手からの助言を受けたり、とにかく想像を巡らし未来を予期し、なるべく後悔のない自分にとって最適最良と思われる判断を下し、そこから選択しているようです。これら一連の思考及び行動は私自身にとって当然のことであり、これが約束されないと主体的な生活、ひいては

自分らしい人生を送ることが危うくなります。障がいのある人にとってはどうでしょう。中でも、知的に障がいのある人にとって、日常生活の中で、自分の経験や価値観に基づき、選ぶという行為を通しての主体性は約束されていたでしょうか。例えば、戦後始まった障がいのある人を対象とした「措置制度」はとても無理のあるものでした。行政による命令でしたので、本人の意思は省みられなくても当然でした。「〇月〇日から、〇〇町にある施設に行きなさい」と。社会諸相全体が貧しく、乏しい時代に有効であったこの制度も、時代とともに変遷を余儀なくされます。



障害施策としての措置制度は、平成十二年に始まる社会福祉基礎構造改革という制度改正の中で改められて行きました。措置から契約の時代に移行しました。自分で選んで、自分で手に入れる。



平成二十四年成立した「障害者総合支援法」に、施行後三年を目的とした検討規定の一つとして「障害者の意思決定支援の在り方」が挙げられました。これを受け、厚労省からこの三月末に「障害福祉サービスの利用にあたっての意思決定支援ガイドラインについて」が発せられています。ここでは、意思決定支援について「自ら意思を決定することに困難を抱える障害者が、日常生活や社会生活に関して自らの意思が反映された生活を送ることができるよう、可能な限り本人が自ら意思決定できるように支援し、本人の意思の確認や意思及び選好を推定し、支援を尽くしても本人の意思及び選好の推定が困難な場合には、最後の手段として本人の最善の利益を検討するために事業所の職員が行う支援の行為及び仕組みをいう」と。

要は、「事業所の職員は様々な手法等駆使して障害のある人の意思を確認し、それをもってサービスの利用ができるように支援すること。それでも、意思の確認ができないときは、サービス利用に当りその人にとって最善の結果をもたらすようにすること」と言えまじょうか。

新たな仕組みとして「意思決定支援責任者」であるとか、「意思決定支援会議」等についても明記されています。つまりは、その実現のためのガイドラインであると。

事業者が利用者の意思を確認することなく、勝手な思い込みから「きっとそうだろう」とか「多分そうに違いない」などと安直な推察からのサービス提供は問題視されまじょう。

これは理解できるのですが、自分の意志を伝えるに、難のある人の存在も否定できません。



私たちは、柔軟な思考と工夫された取り組みを心して、障害のある人の意思を確認して行かねばなりません。このとき、彼を囲む多様な立場の人たちとの協同作業が不可欠となりそうです。ご家族やサービス提供者、相談支援や後見制度関係者等も含みながら。こうして、意思の発現の環境を整えていくことも大切なことですが、何よりご本人が意思を発現することに慣れないなければなりません。幼少期から、存在を否定されたり疎まれたり、こうあるべき論を心身に叩き込まれたり、そこから自己を否定的に或いは矮小化された自分しか見出せないとするれば、とても意思の発言は難しくなるでしょう。



人生のあらゆる場面で、私が私であるために、障害福祉サービス提供の場は当然として、私の意思を聴いて下さい、そして大切にして下さい、との声が聞こえて来るようです。

## ■平成三十年報酬改定で何が問われているのか

のまる管理者…泉一成

来年は介護報酬の改定があります。その見直しの中で、「当事者の声を抜きに決めないで」と各当事者団体に対しヒヤリングが行われています。

財政規律は必要でしょうが、財務省は、利用人員の増も質の向上もないのに、報酬改定だけで財政支出が増となるのは困ると指摘しています。

私が注目している一つは、食事提供体制加算の動向です。施設利用者は食事を自ら作ることは難しいので、施設で（のまるは業務委託）用意しています。報酬改定議論の中で、どこまでが公助で、どこから自助なのか見守っていく必要があると思っています。

障害福祉サービスを利用する中で金銭負担が増えストレスにならないよう本人の状況を把握しなければならない。誰がどのようなサービスを必要とするのか、相談支援専門員に相談し、その人らしく暮らし続けられるように「オーダーメイドの福祉」を実現したいものです。

# 権利擁護はいま



## 「わが子の行く末」と「私たちの老後」

船橋市手をつなぐ育成会員

佐藤裕美

「わが子の行く末」と「私たちの老後」のような「シジョン」を持っていきますか？

障害を持つこの子とは一生二人三脚で生きてゆくのでしょうか？

私には昨年大学を卒業した娘と、2歳年下で3年前に千葉県立千葉盲学校を卒業した息子がいます。息子は生まれた時から光も感じない全盲と知的障害を持っています。高等部卒業後は「けいよう」に通所し、一昨年の5月からグループホーム「ときわ」も利用してささやかな自立をしています。

娘が生まれたとき産院の院長から、「オギャーと生まれた瞬間から、泣くことしかできない赤ちゃんにも一人の人格があります。決して

親の私物ではないのです。」と教えていただきました。息子を産み育てるうちにこの意味が判ってきました。

息子が成長するとともに「親亡き後」という漠然とした心配がいつも頭の中にありました。娘に託さざるを得ませんが、できるだけ負担をかけたくはありません。それ以前に彼女の人生の足かせになつてはいいないと思っています。

盲学校の高等部に入學すると嫌でも卒業後の進路が具体的にになります。どこに通所してどのように生活を送るのか計画しなければなりません。

盲学校では小学6年生から寄宿舎を利用していました。毎年宿泊日

数が増え、高校3年生では全泊となりました。この経験で一週間の曜日の認識が身につつき、また生活リズムも整いました。ゆくゆくはこの習慣を覚えているうちに自宅の生活からグループホームの生活にスライドできれば良いと思っています。

実際にはそのような余裕はありませんでした。高校3年生になると、思春期と卒業が重なりとても不安定になりパニック行動が出たり発作を起こしたりを繰り返しました。彼にとって安定した見通しのつく生活環境が大切ではないかと思うようになりました。

卒業後も「けいよう」と自宅の往復、余暇の過ごし方も楽しむ手段の引き出しは数少なく、飽きるのも時間の問題でした。何より親の監視の下生活するのは年頃の青年にとって苦痛だったのでしょう。外出も一人ではできません。常に誰かが傍にいて見守りプライバシーは無いのですから。パニック行動と発作は増えました。

たまたま条件がそろい並行して「ときわ」を建設することができました。

「ときわ」で生活をするようになり状態は徐々に落ち着きました。家族と良い距離を保つことで、帰宅を楽しみにしている息子に対して余裕を持って迎えることができます。

「親亡き後」の前に親の老い（老後）があり、遅かれ早かれ家を出て集団生活、多くの方の支援を受けて生きてゆく時が来ます。「息子の行く末」と「私たちの老後」は紛れも無く表裏一体であると思います。息子や娘の人格・人生を尊重するのと同じように、私たち夫婦の人生も大切にしたいと考えています。

私たちが子供たちを愛おしく大切に思いそれぞれの人生を充実したものにしたいと願うように、私たちの親も同じように願っていると思います。思いがけず障害を持つ子を授かり一生を捧げることを望んではいないでしょう。

うまく言葉で伝えられないわが子の気持ちや人格をいつも汲み取りながら、家族一人ひとりの人生を尊重していきたいと思っています。



本部

収入の部		支出の部	
経常経費寄附金収入	1,560	事務費支出	9,408
受取利息配当金収入	5	積立資産支出	35,000
その他の収入	127	固定資産取得支出	100
積立資産取崩収入	2,000	拠点区分間繰入金支出	2,310
拠点区分間繰入金収入	44,704	繰越金	1,578
計	48,396	計	48,396

けいよう

収入の部		支出の部	
障害福祉サービス等事業収入	105,699	人件費支出	73,855
借入金利息補助金収入	695	事業費支出	11,314
経常経費寄附金収入	235	事務費支出	5,788
受取利息配当金収入	1	支払利息支出	843
その他の収入	2,474	その他の支出	1,524
施設整備等補助金収入	2,880	設備資金借入金元金償還支出	3,630
積立資産取崩収入	103	固定資産取得支出	173
		積立資産支出	10,892
		拠点区分間繰入金支出	820
		繰越金	3,248
計	112,087	計	112,087

北総育成園

収入の部		支出の部	
障害福祉サービス等事業収入	383,901	人件費支出	251,775
経常経費寄附金収入	263	事業費支出	64,137
受取利息配当金収入	46	事務費支出	29,124
その他の収入	5,709	その他の支出	5,263
積立資産取崩収入	17,235	固定資産取得支出	21,756
		積立資産支出	2,579
		拠点区分間繰入金支出	28,650
		繰越金	3,870
計	407,154	計	407,154

とらのこキッズ

収入の部		支出の部	
障害福祉サービス等事業収入	118,878	人件費支出	77,477
借入金利息補助金収入	413	事業費支出	8,632
経常経費寄附金収入	0	事務費支出	13,324
受取利息配当金収入	1	支払利息支出	750
その他の収入	1,565	その他の支出	1,281
施設整備等補助金収入	1,980	設備資金借入金元金償還支出	3,880
積立資産取崩収入	2,000	固定資産取得支出	727
		ファイナンス・リース債務の返済支出	595
		積立資産支出	14,891
		拠点区分間繰入金支出	2,670
		繰越金	610
計	124,837	計	124,837

さざんかキッズ

収入の部		支出の部	
障害福祉サービス等事業収入	209,439	人件費支出	156,408
借入金利息補助金収入	911	事業費支出	16,774
経常経費寄附金収入	63	事務費支出	29,166
受取利息配当金収入	0	支払利息支出	1,046
その他の収入	2,929	その他の支出	2,767
施設整備等補助金収入	7,430	設備資金借入金元金償還支出	7,302
積立資産取崩収入	4	固定資産取得支出	2,051
拠点区分間繰入金収入	2,610	ファイナンス・リース債務の返済支出	851
		積立資産支出	1,773
		拠点区分間繰入金支出	310
		繰越金	4,938
計	223,386	計	223,386

笹川なすな工房

収入の部		支出の部	
就労支援事業収入	22,065	人件費支出	46,296
障害福祉サービス等事業収入	59,811	事業費支出	7,385
経常経費寄附金収入	529	事務費支出	3,843
受取利息配当金収入	8	就労支援事業支出	22,014
その他の収入	574	その他の支出	637
積立資産取崩収入	100	固定資産取得支出	373
		積立資産支出	467
		繰越金	2,072
計	83,087	計	83,087

カメラアハウス

収入の部		支出の部	
就労支援事業収入	2,249	人件費支出	42,459
障害福祉サービス等事業収入	69,740	事業費支出	6,449
経常経費寄附金収入	20	事務費支出	6,144
受取利息	1	就労支援事業支出	2,249
その他の収入	74	固定資産取得支出	2,806
積立資産取崩収入	1	積立資産支出	9,573
		拠点区分間繰入金支出	554
		繰越金	1,851
計	72,085	計	72,085

ゆたか福祉苑

収入の部		支出の部	
障害福祉サービス等事業収入	220,219	人件費支出	143,344
経常経費寄附金収入	2,055	事業費支出	25,471
受取利息配当金収入	4	事務費支出	21,360
その他の収入	2,577	支払利息支出	0
設備資金借入金収入	130,000	その他の支出	2,255
積立資産取崩収入	25,760	固定資産取得支出	176,172
拠点区分間繰入金収入	2,000	ファイナンス・リース債務の返済支出	0
		積立資産支出	11,024
		拠点区分間繰入金支出	1,650
		繰越金	1,339
計	382,615	計	382,615

魔法のランプ

収入の部		支出の部	
障害福祉サービス等事業収入	67,210	人件費支出	61,708
受取利息配当金収入	0	事業費支出	4,408
その他の収入	224	事務費支出	7,334
積立資産取崩収入	91	その他の支出	167
		積立資産支出	670
		繰越金	△ 6,762
計	67,525	計	67,525

のまる

収入の部		支出の部	
障害福祉サービス等事業収入	238,905	人件費支出	158,957
借入金利息補助金収入	445	事業費支出	32,818
経常経費寄附金収入	60	事務費支出	37,822
受取利息配当金収入	8	支払利息支出	551
その他の収入	4,419	その他の支出	3,958
施設整備等補助金収入	5,184	設備資金借入金元金償還支出	5,184
積立資産取崩収入	9,726	固定資産取得支出	8,630
		ファイナンス・リース債務の返済支出	523
		積立資産支出	7,054
		拠点区分間繰入金支出	2,350
		繰越金	900
計	258,747	計	258,747

GH (15ヶ所)

収入の部		支出の部	
障害福祉サービス等事業収入	256,448	人件費支出	179,370
借入金利息補助金収入	19	事業費支出	31,711
受取利息配当金収入	0	事務費支出	33,795
その他の収入	1,077	支払利息支出	20
施設整備等補助金収入	7,647	その他の支出	1,155
設備資金借入金収入	6,100	設備資金借入金元金償還支出	1,324
積立資産取崩収入	806	固定資産取得支出	10,924
拠点区分間繰入金収入	0	積立資産支出	1,438
		拠点区分間繰入金支出	10,000
		その他の活動による支出	690
		繰越金	1,670
計	272,097	計	272,097

平成28年度貸借対照表 (単位:千円)

資産の部		負債の部	
流動資産(現金預金他)	757,053	流動負債(未払他)	145,530
固定資産	2,020,647	固定負債	443,764
基本財産(土地・建物)	1,345,392	設備資金・退職給付引当金	438,260
その他の固定資産	675,255	負債の部合計	589,294
土地	14,852	純資産の部	
建物・構築物	102,205	基本金	85,169
機械装置・器具備品	53,729	国庫補助金等特別積立金	680,063
車輛運搬具	35,773	その他の積立金	358,892
有形リース・権利等	10,868	次期繰越活動増減差額	1,064,282
退職給付引当資産	95,814		
各種積立金	362,014	純資産の部合計	2,188,406
資産の部合計	2,777,700	負債及び純資産の部合計	2,777,700

# 28年度ふたわ会の活動報告

のまる：泉一成

船橋市内の事業所からふたわ会委員がけいように集まり、時節において話題になっていることや事業運営に関する法令遵守の実践、などを話し合っています。

平成28年度は、主な議題は、  
第1回6月7日（火）

- ① 私たちの仕事の根拠 憲法から考えてみよう
- ② 雇用と人権について  
(法務省人権研修資料から)

第2回10月11日（火）

- ① 相模原事件について  
ストレスも一因の記事について意見交換
- ② 職場のストレスチェック



第3回 平成29年2月14日（火）

- ① ヒヤリハットの報告と予防に向けた意見交換
- ② 福祉職場のリスクマネジメント
- ③ 感情労働について

平成28年7月相模原津久井やまゆり園での凄惨な事件は大きな衝撃でした。何よりも無抵抗な利用者を傷付けるという考えも及ばない加害者の行為を許すことはできません。

## ■平成28年度ヒヤリハット集計

話し合う課題やテーマがぼやけてしまうことはないか、話し合ったテーマが各事業所にフィードバックされているだろうか、議論は尽くされているだろうか----。いつも反省ばかりで、参加する職員が発言しやすいようにと思っています。

児童発達支援センターではアレルギー食のお子さんもいることから何に対するアレルギーがあるのか事前チェックは必須です。とらのこでは「日々のKYT活動」を実践しています。のまるでは同じ利用者さんの転倒によるけがが続いているため、支援の見直しを行い、改めて支援の統一を図っています。

スタッフ間の連携強化など事業所ごとにリスクマネジメントを着実にを行うよう工夫を重ねていこうと年度の終わりに誓い合います。

福祉とはなんだろう。私たちは仕事を語る時熱くなりますが、「福祉とは」と問われると言葉に詰まるものです。概念としての福祉、個別行為としての福祉、社会的価値としての福祉、制度としての福祉。私は、共にいきること、共に仕合わせになることが福祉だと考えています。

さざんか会の職員として、モチベーションの発生源を他者に求めるのではなく、自らの力を発揮し高い成果を出せるようにしなければならない。共に生きること、共に仕合わせになることを目標に今日も明日も明後日もつながっていこう。

内容/件数	さざんか	けいよう	ゆたか	カメラア	のまる	とらのこ	ランブ	総計
転倒等けが	23	30	2	2	17	6	2	82 (38%)
食事関連	2	6	1	0	1	0	2	12 (5%)
飛出し等	2	0	0	4	11	2	1	20 (9%)
投棄等	0	3	3	1	14	0	0	21 (10%)
車輛	1	2	4	2	0	0	2	11 (4%)
連絡ミス	3	2	0	0	0	1	9	15 (7%)
その他	10	15	1	3	9	4	18	60 (27%)
	41	58	11	12	52	13	34	221

# ゆたか福祉苑

綺麗になった  
本館。



こちらは  
新館です。



エレベーターも  
出来ました♪

新年度が始まりました。昨年度より行われていた改修工事も終了し、建物も綺麗に生まれ変わりました。建物・備品も含めこれからも大切に使い、綺麗な状態を保って行きたいものです。さて、ゆたか福祉苑では、今年度新たに2名の職員を迎え、班の職員配置も一新されました。体制も変わり、気持ちも新たに邁進していきますので、宜しくお願い致します。



■福岡 舞美 (ふくおか まいみ)  
出身地：神奈川県  
得意なこと：包丁研ぎ  
好きな食べ物：お肉  
ひとこと！  
「ご利用者様のたくさんの笑顔が見られる支援が出来るよう努力していきますので、よろしくお願い致します」



■草野 江里子 (くさの えりこ)  
出身地：千葉県  
得意なこと：身体を動かすこと  
好きな食べ物：果物、ゆで卵、お肉  
ひとこと！  
「ご利用者様お一人お一人の気持ちに寄り添えるような支援を目標に頑張ります」

今年度、新たに迎えたゆたか福祉苑の仲間を紹介させて頂きます♪  
皆さま、宜しくお願い致します〜！

# 新人職員紹介



細貝 歩(ほそかい あゆみ)

出身地：兵庫県

得意なこと：特意とはまだ言えませんが、写真を撮ることが好きです。

好きな食べ物：オムライス

パウンドケーキ新商品のお知らせ

カメラハウスのパウンドケーキに新商品が仲間入りしました！「マーブル」です。フレーンの生地にはほろ苦いココアのマーブル模様♡是非、お試しください！1切 120円 上澤



ポスティングのお仕事を頂いている地域新聞社さんから、配布をがんばっているので表彰状を頂きました！これを励みに益々がんばって活動していきます！

新年度が始まって早3ヶ月が経ちました。さて昨年に引き続き、カメラハウスでは新しく1名の職員を迎えメンバ―がまたまた一新しました。新しい職員を迎え益々、賑やかになりました。  
では、新しい職員1名を紹介していきます。

カメラハウス

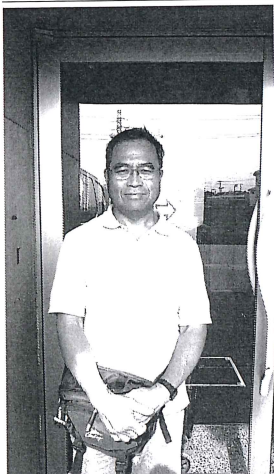
夏だより

けいよう

新人職員紹介

今年是非常勤職員が一名、新たに入ってきました。四月から一緒に働いている宮崎さんです。紹介します。  
これから宜しくお願ひします。

- ㊦ 名前 宮崎 等
- ㊩ 出身地 東京都町田市
- ㊪ 得意な事 畑仕事
- ㊫ 好きな食べ物 南瓜、スイーツ  
ではパンプキン



畑作紹介

今年も、けいようの畑作が始まりました。

春先に、トマト・茄子・キウリ・にんにく・人参・蕪と種蒔きをしました。最近では草取りや水撒きをしています。

次回は、成長している所をご紹介しますと思います。収穫が楽しみです。





岡崎静江

☆本間ホーム  
皆さんの手助けで  
なんとかやっており  
ます。頑張りますので  
宜しく御願います。

# ホーム便り

DDホームズの新人ス  
タッフ紹介します！

☆さざんか荘  
日々学ぶことばか  
りですが、微力ながら  
お役に立てます様、努  
力致します。



後藤史子

☆ゆーもあ  
毎日元気で皆さん  
と仲良く頑張ります。



遠藤三恵子



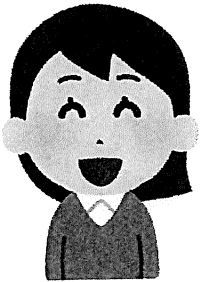
樋口美代子

☆さざんか荘  
数十年前ゆたか福  
祉苑に勤務させて頂  
き、縁あってまたお手  
伝いさせて頂きます。

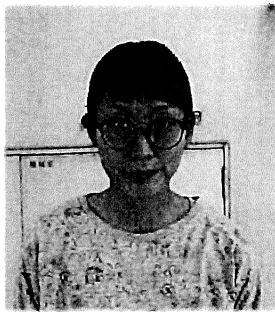


平原ひなこ

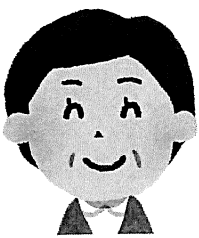
☆ゆーもあ  
食べる事が好きなん  
で、喜んで働いており  
ます。



名前 K・C  
年齢 ヒ・ミ・ツッ  
出身地 船橋市  
好きな食べ物 タイ料理  
休日の過ごし方  
子どもと公園で遊んでます



☆ スタッフ紹介 ☆  
のまるにて、新しくお仕事をし  
て下さるスタッフを紹介します。  
名前 野本 美保(のみと みほ)  
年齢 ヒ・ミ・ツッ  
出身地 東京都  
好きな食べ物 肉・ビール  
休日の過ごし方  
子どもとお出掛け・手芸・  
DIYなど



名前 O・Y子  
年齢 ヒ・ミ・ツッ  
出身地 佐賀県唐津市  
好きな食べ物 やさい  
休日の過ごし方  
買い物・洗濯、暇になると編み物



名前 五味 佑介(ごみ ゆづすけ)  
年齢 26歳  
出身地 市川市  
好きな食べ物 ラーメン  
休日の過ごし方  
家でのんびり・友人と食事  
週末は野球



### とらのこキッズ 新人職員紹介

暑さが増してきた7月。新年度を迎えて、あっという間に3カ月が経ちましたね！子ども達も職員も暑さに負けず、毎日元気いっぱいのとらのこキッズです☆

さて、今年は2名の新人さんを迎えましたので、紹介したいと思います♪

質問：①名前 ②出身地 ③得意なこと ④好きな食べ物



- ① 寺山 采花
- ② 茨城県
- ③ 長時間の睡眠
- ④ さくらんぼ

今年度はいちご組です☆



- ① 石川 めぐみ
- ② 千葉県
- ③ 早起き
- ④ チョコレート

今年度はさくら組です☆



今年度も職員みんなでとらのこキッズを盛り上げていきますー！



加藤 三幸

- ① 千葉県
- ② 旅先だと早起きになる
- ③ 小籠包・カラスミ



片桐 雅子

- ① 千葉県
- ② バイオリンを弾くこと
- ③ 中華料理



よろしくお祈いします☆

大高 奈那

- ① 福島県
- ② 書道
- ③ いも類



星野 李奈

- ① 千葉県
- ② 絵を描くこと
- ③ お寿司



① 出身地 ② 得意なこと ③ 好きな食べ物



### さざんかキッズ 新人職員紹介

三年目に突入したさざんかキッズ。四名の新しい仲間と共に、更なるパワーアップを目指して頑張ります！ よろしくお祈いします！



# 北総の里から

## 第4回須賀山城址開山祭り

支援課長 絵嶋典子

さる5月27日(土)、第4回須賀山城址開山祭りには地域の皆様をはじめ沢山の方々にご来場いただき無事成功裏に終えることが出来ました。

この行事は北総育成園40周年事業の一環で武井園長がこの地で

お世話になった地域への恩返しとして須賀山城址整備を発案し、主に林産班利用者と男子職員が広い篠竹の藪を切り開いて整備が続けられてきました。

平成26年5月に第1回須賀山城開山祭りが開催されて、以降もその整備は継続され、年々地域の皆様にも広く知って頂く行事となっています。

今年も、東庄町岩田町長をはじめとして町議会議員・東庄ライオンズクラブ・須賀山城址保存会他多くのご来賓の皆様にご来場いただきました。朝10時半には須賀山城址登山口から、元気な掛け声とともに150人の隊列で登頂。



ほんの10〜15分の登山ですが切り開かれた頂上からは東庄の美しい田と町並みが眼下に広がります。汗ばんだ体にさわやかな風が心地よく、男子職員中心に作った杉の木のベンチはお客様にも大好評でした。支援員高橋さん遠藤さんの剣道三本勝負も真剣さがあふれ、会場が活気に沸きました。

第2部は野の花広場に場所を移し、厨房職員手作りのカレーライスや焼きそばなどの模擬店が並びます。

岩田町長・林町議員・嶋田東庄ライオンズクラブ会長よりご挨拶を頂いて、舞台発表が始まります。毎年ゲストとして駆けつけて下さるのは、地元笹川のお囃子「大木戸下座連小若下座連」、舞踊「花園真帆社中」の皆様です。北総・笹川なすな工房・自然の発表も盛り上がり、さあ大トリは「北総どっこい一座」の水戸黄門。地元のお客様の笑顔、利用者の笑顔があふれ、今年もこうして皆さんが楽しんで集まってくれました。

地元の皆様はじめ多くの方々に支えられ今年で第4回を迎えることが出来ました。実行委員長の加瀬さんを猪田課長がしっかり支え、北総全体でチームワークよくこの須賀山城址開山祭りを終えることが出来ました。これから地域の皆様に支えられ、園長の「地元福祉の拠り所と恩返し」の思いを実践し、広げていきたいと思えます。保護者の皆様もぜひ来年は足をお運びください。

# 育児と仕事の両立と葛藤

## 笹川なずな工房支援員：高野明夏

平成二十八年四月二十七日二人目を出産し、その後産休、育児休暇を取得させて頂き、この四月二日より一年ぶりに仕事復帰をさせていただきました。私には小学校一年生になった娘と一歳になった息子がいます。

復帰するにあたり感じた事は、働く場所がある事がたさ、子供を預かってくれる保育園がある事のありがたさ。何より職員や利用者の皆さんが私の復帰を快く待っていてくれた事に感謝の言葉しかありません。二人の母親として、妻として日々時間に追われながらの生活。朝は五時に息子と起床。息子の朝食を用意し食べさせ、保育園へ行く身支度を行います。まだ目が離せない日々。五時半に主人が起床すると共に娘も眠たい目を擦りながら起床。六時五十分娘は友達と共に二キロの道のりを徒歩で通学して行きます。娘を送り出し次は自分の身支度。七時二十分娘が歩いている所を車で追い越し息子を保育園へ送り私は仕事へ向か



います。友達のお母さん方と一緒に歩く娘に目をやり、小学校一年生になったばかりの娘と一緒に歩いて送れない心苦しさ。しかし、母が働いている事が当たり前と思う娘は母の心配もかき消してくれる笑顔で通り過ぎる私に手を振ってくれます。こんな時、忙しさに理由をつけて余裕がなく娘を怒ってしまう自分の心の小ささを反省する毎日。

息子を送り職場に着く間の十分足らずの時間が私一人の時間。その車内で仕事モードへ切り替える。復帰前からこのような生活が始まる事を頭では分かっていたし、母親が働いている事で、子供に寂しい思いや辛い思いをさせないように時間を有効的に使えるようコミュニケーションはしていたが、現実は想像以上でした。復帰して二ヶ月余りが経ち、一年というブランクがこんなにも大変なものなのか・・・と感じる日々を過ごしています。

一年前はすんなり出来ていた事が出来ない。これは？どうするんだっけ？と迷うこともあります。以前のように体と頭が動かない。以前のように仕事に向き合いたい！という気持ちだけが先走って潰れそうになった5月下旬。その中で、息子の体調不良で急な休みを頂く事。主人と息子の看病を交換する為に半休を頂く事。娘は放課後児童クラブでのトラブルが原因で腹痛が続く事も重なりました。早くに気が付いて話を聞き出してあげれば、と自分を責めました。

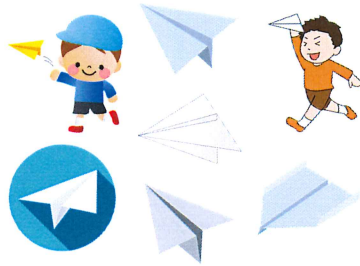
職員の皆さんにはご迷惑をお掛けする日々で、仕事をしていても電話が鳴るたびに“保育園からの電話かな・・・”とドキドキする事もあります。息子の体調不良が続いた時、周りの迷惑を掛けてまで働く意味はあるのだろうか・・・。

母親という仕事を全う出来ていようか・・・。全てが中途半端になっているのではないだろうか・・・。色々な面で配慮を頂いているのにも関わらず・・・。と自分に問いかけた事を覚えています。そんな時、共に働く職員の皆さんから、暖かい言葉をかけて頂き本当にありがたかったです。また、利用者さんの一生懸命働かせる姿に勇気付けられました。なぜ私は“笹川なずな工房”という場所身を置いていたのか・・・。それは、二人の子供が大きくなった時に今周りの皆さんから頂いていることへの恩返しが出来れば良いなと思う事。また、育児を通して学んでいる事が支援員として利用者の皆さんに良い形で役に立てれば良いと思う事。そして、子供と程よい距離感を保ち共に成長したい事。

家族が何より。“笹川なすな工房”という場所で働く事を応援してくれている事。色々な考え方がある中で、子供が小さいうちは子供の面倒を見て女性は家に居れば良い！という考え方や子供を小さいうちから保育園に入れるのは可哀そう等と思われる方もおられると思いますが、私はこの仕事と育児の両立に誇りを持ちたいのです。

育児と仕事は甘い考えでは出来ないと分かっていながらも気を緩めてしまう事もあります。全てを完璧にこなしたい！自分が選んだ道なので弱音は吐きたくない！と葛藤していたが、体一つでは絶対に無理な事。時には手を抜く事も大切である事を二人の育児を通して教えてもらった気がする。たまたまテレビをつけたらこんな言葉が聞こえてきました。「仕事50% 家事育児50%でも合わせたら100%なんだから」という言葉に救われ、沢山の人が助けられながら、職場復帰が出来ている事に本当に感謝の言葉しかありません。

そして、娘と息子が元気に成長してくれている事が何よりも私の力です。笑顔で学校や保育園へ行ってくれる事。迎えの帰りの車で今日の出来事を笑顔で教えてくれる娘。母親になって当たり前の事が当たり前でない事も実感する日々です。



最後に育児休暇等、制度も整ってきている現在だと思いますが、この様な制度を活用しても負担は大きいと感じました。もっともっと女性が子育てをしながら安心して働ける環境に社会全体がなって欲しいと願う。経験しなくては気が付けなかった事。今後も笹川なすな工房に身を置かせてもらい謙虚な気持ちを忘れず、仕事に昇進していこうと思えます。

# ランプ発

## 管理者：山田朝広



こんにちは。いつも私の文章をご拝読頂きまして、厚く御礼を申し上げます。

皆様、梅雨の時期、いかがお過ごしでしょうか？今はアシサイがとても見頃です。先日、ご利用者様のお母様から船橋アリーナ裏のアシサイの穴場スポットを紹介されました。一つ一つ鉢植えになっていましたが、見事な咲きようで、結構圧巻でした。もう時期がずれてきましたが、来年も同時期にご覧下さい。本館の脇から出た所のちよっとしたアパート群の一角です。是非…。また、私が良く行く、新川沿いもきれいに咲いておりました。

さて今回は、魔法のランプが来た経緯と今後の方向性も含めて話してという依頼がありましたので、その事について話をしたいと思います。

当法人ホームページにも記載してありますが、この「魔法のランプ」は、平成十一年にオープンしました。当初は、私と同一年の者が宮代理事長と共に地域生活支援の必要性を感じ、起ち上げておりました。私は当時ゆたか福祉スタッフとして取り組んでおりました。その時、理事長は当時のゆたか福祉苑の苑長も兼任しておりましたので、いろいろと情報は聞いておりました。但し当時は、目の前の自分の仕事のことです。一杯でしたので、地域生活支援の必要性は感じておりましたが、深く関心を持っておりませんでした。すみません。その為、あまり詳しいことは話せませんが、知る限りでお話申し上げます。

まずこの事業所の名前の由来ですが、当初「魔法のランプ」と初めて聞いた時に、率直に自分の中でしっくりきませんでした。

しかし、名前の由来について聞いた時になるほど思ったことは事実です。皆様、「アラジンと魔法のランプ」という物語はご存知ですよね。その物語の中で、魔法のランプはとても重要な物であり、その中からランプの精（ジーニー）が出てきて、ご主人様の言う事を何でも聞いてくれるというのが役目でした。そこからヒントを得て、「魔法のランプ」と命名したようです。当時からこのような素晴らしい命名をされるのは、決まって宮代理事長でした。当初は前文にも書きましたが、じっくり考えておりませんでした。しかし今ではこの名前は、インパクトがあり、この名前で良かったと思っております。但し、時々領収書などを作成して頂く時にちょっとだけ恥ずかしいなと思う事がありますが…。

次にこの事業所のできた経緯をお話します。これもホームページから抜粋しますが、元々は「障がいのある人がいつまでも地域の中で自分らしく生活できるように、そのお手伝いをするために誕生しました。それは障がいのある人が枠の中に納まるのではなく、一人ひとりの個性に合わせたサービスを提供することを第一に考えて取り組んで参りました。」という事です。また「お一人おひとりが自立した市民として地域の中で多

くの人達と交わりながら暮らしていくことがようやく浸透して参りました。障がいのある人の利用する福祉サービスの質的変換が図られています。また変換途中であると思いますが、『魔法のランプ』は常にその先端に位置したいと思っております。そうすることにより今何が求められ必要なサービスなのか理解するとともに、作り上げていかなければならないサービスもあると思います。」と当時理事長が説明され、今後は施設支援ばかりではなく、皆様の地域の暮らしにも着目してかなければならないと感じた覚えがあります。但し、立ち上げ当初は、全く今でいう障害者総合支援法もない時代からスタートし、サービスを考え提供しておりましたので、利用者様にとっては自己負担金もあり、正直出費が多かったと思われまます。

また施設スタッフもランプスタッフが少ないこともあり、お手伝いという形で、休日などもボランティアとしてランプが企画するイベントなどに参加して頂き、私も皆様と余暇を楽しんでいた覚えがあります。当初は、成人の方に向け「休日イベント」と称して、ボーリングやバーベキューなどを企画して外出し、児童の方には「長期休暇支援」と称して、夏休みに船橋海浜公園等へのプール支援を企画して外出しております。

その際は、当時ゆたか福祉苑のバスを利用していたのを記憶しております。このように、いろいろな企画を立て、実施してまいりました。

当時のスタッフはすごいなと感心してまいります。実は一度、既に自立支援法が出来整っていた頃の一昔に移動支援事業の中のグループ支援を利用して、ボーリングに行く企画をしました。ご利用者の方々がすっかりマンツーマンでの個別支援に慣れてしまい、ヘルパーに対しての独占欲が強くなり、普段は二人しかいないので、比べることが無かった分、自分が一番ではないことに腹を立ててしまふ方など、様々でグループ支援が失敗に終わったのを記憶しております。スタッフの間では復活させたいという願望もあるようですが、今挙げた部分が出来ないような状況ではスタートできないかなと感じております。

これからのランプは、どうなるのかという今後の方向性についてですが、現在ニーズとしては、外出支援を中心に、ご家族様のご高齢に伴い、ご本人様の宿泊体験を希望する方が増えてきております。施設での短期入所は、利用料が掛からなくて済むのですが、宿泊料1万円が掛かっても当事業所を選択して頂く方も少なくはありません。また、施設での団体での宿泊ではなく、個別での宿泊を希望される方も同様です。船橋市では、一時介護料

(1泊5千円)を助成して頂いております。それを有効活用しながら、今後も継続して行けたらと考えています。

また、当事業所は、法の下で運営させていただいておりますので、資格が必須となっております。その為、これが壁となり、人が増えないというのも事実です。ランプスタッフとも協議を重ねていかないといいませんが、資格がない人でも気軽に参加できるような企画を用意して人集めをし、次に繋げていかないといけないのかなとも考えます。(これはあくまでも個人的な意見です。)

まずは人材(財)集めでしょうか?皆様の周囲で興味を持つていらっしゃる方がおりましたら、是非ご紹介ください。

よろしくお願い申し上げます。

#### ■ 記事の訂正

おーぷん72号P11行動支援の判定基準を10点以上とすべきところ8点以上と誤って記載しました。また、移動支援で主に手帳を取得している方々すべてが対象ではなく、正しくは療育手帳所持者が対象でした。船橋市障害福祉課様から指摘があり、訂正しお詫び申し上げます。申し訳ございませんでした。

# さざんか会後援会だより



平成29年6月6日(火)午前10時30分から薬田台公民館において出席52名、委任状216名のもと、さざんか会後援会の総会が開催されました。

さざんか会後援会藤澤新作会長の挨拶から始まり、来賓として、船橋市手をつなぐ育成会会長好村肇様、社会福祉法人さざんか会理事長宮代隆治様のご挨拶がありました。藤澤会長から来賓やさざんか会各事業所管理者の紹介がありました。その後議長にのまる「林恵美子さん」が選出され議事に入り議案はすべて承認されました。

(記・書記：矢部あゆみ)



後援会から法人に対して150万円寄付の目録が贈呈されました。

## ■第二部 シンポジウム

宮代理事長の進行のもと午後はさざんか会各事業所管理者から次のように報告がありました。

まず宮代理事長からは、法人の事業計画が説明されました。

① さざんかキッズ奥山施設長

定員は80名。よりよい遊びや資質の高い支援を目標にしています。肢体の方が10名ですがよりよいケアをしていきたいと思えます。

② のまる泉施設長

来年、大規模改修を予定しています。優先順位をつけ優先度の高いものを改修し、快適な生活環境を提供していきたいと考えています。

③ ゆたか福祉苑尾村施設長

開苑以来二十五年経過し平均年齢も四十歳を超えました。昨年7月からの改修工事も終わり高齢化対策としてバリアフリーを強化しエレベーターも設置しました。

③ けいよう古川施設長

利用者の高齢化が課題で、職員は

近隣の高齢者施設にて対応を学んでいます。利用者さんの活動スペースを広げることも検討しています。

④ カメリアハウス藤敷施設長

多機能事業所として四十五名の方が利用しています。定員を増やすとともに医療機関との連携を図りサービス提供の質を高めたい。

⑤ のまのまホームズ中川管理者

児童の計画相談も担当し、幼児から高齢期の人まで関わっています。その人らしく生活できることを支援できればと考えます。

⑥ なすな工房荒井施設長

就労支援の事業所で二十五名が利用しています。一般就労も毎年五名ずつ実施し、失敗しても再挑戦することが大切だと思っています。

⑦ 北総育成園白樫副園長

昭和四十九年開設。平均年齢五十二歳。高齢化に伴い医療や介護の課題があります。短期入所の相談も受けています。

⑧ ところのこキッズ齋藤施設長

今年百十一名の申込みがありました。今年半数のお子さんしか児童発達支援センターに入れなかった。療育を必要としているお子さんにと

う対応するのか今後の課題です。職員の人材不足も深刻です。

⑨ 魔法のランプ山田管理者

百七十名の契約に対し五十〜六十名が利用しています。居宅介護・重度訪問介護・行動援護・移動支援などを行っています。人材不足で児童期の方へサービス提供できない状況です。

⑩ DDホームズ渡邊管理者

五月から管理者になりました。ホーム利用者四十名平均年齢四十五歳。市内十か所にホームがあります。安心・安全に気を付け健康でおいしい食事を提供して普通の暮らしをしているのがグループホームです。

(記：広報部)

社会福祉法人さざんか会の現状

理事長 宮代隆治

現在さざんか会利用者は男性340名 女性156名合計500名弱の方々が利用しています。職員数も311名。さざんか会は『①社会福祉法人改革への対応 ②人材確保と育成 ③高齢化への対応 ④療育の充実と健やかな成長 ⑤事務局体制の強化』を五本柱に地域に信頼される社会福祉法人を目指し情報公開を適切に行ってまいります。